

歯内療法のエビデンスの背景にある“Why”を考え、
治療方針である“How to”を導く！

“Why”から“How to”を導く 実践 歯内療法

エビデンス

×

テクニック

×

バイオロジー



嘉村康彦 / 田中利典 / 遠藤祐人

著者

嘉村康彦 / 田中利典 / 遠藤祐人

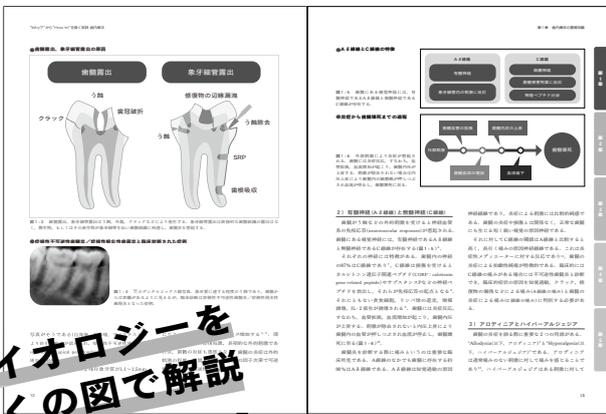
歯内療法における基本的事項(バイオロジー、診査、診断、治療計画、材料、ほか)から実践的なテクニックまでをエビデンスベースで解説。そのうえで、エビデンスの背景にある“Why：なぜそうなったか？”を考え、それを一つひとつ解決していき、結果的に治療方針“How to”を導くものとなっている。歯内療法を行うすべての歯科医師にとって必携の1冊。

本書の特徴

- 1 最新かつ豊富なエビデンスにより基本的事項から歯内療法を学べる
- 2 昨今の歯内療法における潮流とともに症例を交えそのテクニックを提示
- 3 歯内療法の基本であるバイオロジーを、多くの図を用いて分かりやすく徹底解説



エビデンスベースで
 診査・診断が学べる



バイオロジーを
 多くの図で解説



CONTENTS

第1章 歯内療法の基本知識

- 1-1 歯髄炎、根尖性歯周炎の病因論、治癒論
- 1-2 臨床に生きる細菌学

第2章 診査、診断、治療計画

- 2-1 正確な歯内療法を行うための問診・臨床診査
- 2-2 正確な歯内療法を行うためのエックス線による診査・診断
- 2-3 エビデンスに基づいた治療計画

第3章 実践！ 歯内療法

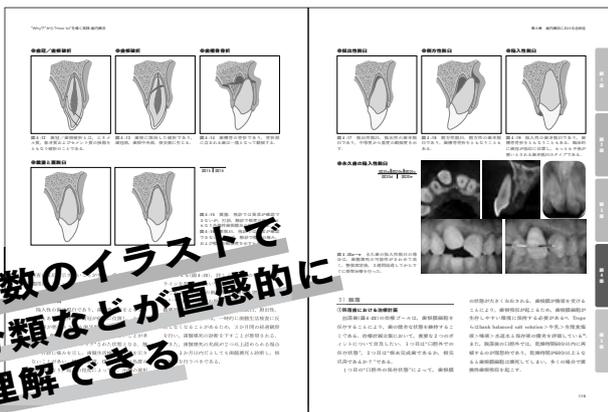
- 3-1 非外科的歯内療法で再発予防を！
- 3-2 外科的歯内療法を成功させるために必要なこと
- 3-3 生活歯髄療法と再生歯内療法

第4章 歯内療法における合併症

- 4-1 歯内療法領域における外傷
- 4-2 合併症への対応
- 4-3 “歯根吸収の病因、分類、診断、治療法”と“エンド・ペリオ病変”

第5章 歯内療法における疼痛

- 5-1 痛みのメカニズムと非歯内療法関連病変との鑑別
- 5-2 根尖性歯周炎の病因論、治癒論から紐解く“痛み”



多数のイラストで
 分類などが直感的に
 理解できる



豊富な症例写真で実践的な
 テクニックを提示

きりとり線

注文書

“Why” から “How to” を導く実践 歯内療法 エビデンス×テクニック×バイオロジー

モリタ商品コード:208040813

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
 ※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。